

第8回 幌延町議会  
臨時議会  
平成26年  
12月5日

12月5日、第8回町議会（臨時会）が開催され、議長に植村敦氏、副議長に吉原哲男氏が選出された。

また、固定資産評価審査委員に成田義弘氏（58歳）を選任することに同意し、議案9件、議員発議等を可決して、終了した。



議長に植村敦氏

前議長の残任期間ですが、議会が町民皆さんから信頼されるよう、議会運営、町発展にまい進して参ります。



副議長に吉原哲男氏

副議長として議長を補佐しながら、議会が信頼を得られるよう、一生懸命務めて参ります。

議員発議「議員定数を定める条例の一部改正」

9名から8名へ削減する条例で、賛否両論。最終的には、4対3で可決した。

提案理由・西澤裕之議員

まちづくり基本条例では、議会の組織や定数については人口の推移と社会情勢などにより定めると規定している。町の財政健全化に向けた経費の削減や行政のスリム化といった行財政の改革を推し進めることが述べられている。人口の推移や社会情勢を考慮した時、1

名削減していくことが、住民の期待に添えていくことになる。

質疑

齋賀議員 削減することが住民の期待に添えることになるか、どういふ調査で述べているのか。

西澤議員（提案者） 私の聞いている中では、1名削減が多かったということ。

齋賀議員 町村議事会などで話では、住民の声を反映させてこそ地方自治が成り立つと述べている。議員削減は、自治の原点を否定するものではないか。

西澤議員（提案者） 全員協議会で、それぞれの立場で発言をされた。私は8名でも議会運営出来ると判断した。

反対討論  
鷺見議員 議会の役割は、地方自治に基づく、住民から直接選挙で選ばれた首長と住民の代表である議員が構成する二元代表制である。

町政と住民をつなぐパイプ役としての役割、町政をチェックし執行機関に対する批判、監視役としての役割、政策提案等の役割がある。今の幌延町には9名の議員は必要。

賛成討論

高橋議員 幌延町より人口の多い猿払村でも1名削減した。各市町村でも削減されるなどしており、町民の期待に添えることから、削減案に賛成する。

反対討論

齋賀議員 今までの定数問題は、議員協議会の中で話し合っで決定されてきた。今回も協議会の中で人口によつての削減というのが、ほぼ一致した意見だった。私の地区では、9人の定数で町長を応援していこうという意見があった。

賛成討論

佐々木議員 本町の人口は減少している。猿払村や中頓別町との比較、平成22年11月の定数削減の要請があったことなどを考慮し、少数精鋭の議会運営することが良い。

編集後記

新年あけましておめでとございませう。平成27年の新春を迎え、皆様のご健勝を心からお喜び申し上げます。

昨年は町長選挙があり、宮本町政から野々村町政へとバトンが渡されました。これまでと同様、住民対話を重視した町運営を期待します。

議会も議長に植村敦氏、副議長に吉原哲男氏と、新たな組織体制でスタートしており、議会運営委員に佐々木忠光議員、産業厚生常任委員に植村敦議員、議会報発行特別委員に西澤裕之議員が就任しています。4月の統一地方選挙までの短い期間ではありますが、より良いまちづくりに努めて参りますので、ご指導賜りますようお願い申し上げます。皆様にとつて、明るく幸多い年でありませうお祈り申し上げます。

編集委員長 鷺見 悟  
副編集委員長 齋賀 弘孝  
編集委員 吉原 哲男  
西澤 裕之